

# 2026年度 絹サークル生募集中

## 〈カリキュラム〉

〔月3回 第1・2・3火曜日〕

1年	精練(繭)、真綿作り(角・袋)、糸作り(摺りだし・太真綿糸)、太真綿糸マフラー、作品作り
2年	精練(繭・緒糸)、真綿作り(角・袋)、糸作り(結城紬つくし・スピンドル紡ぎ・電動紡ぎ)、染色(緒糸)、緒糸組マフラー、煮繭(手繰り)、共同作品作り
3年	煮繭、生糸作り(座繰り)、精練(生糸)、染色(絹糸)、撚糸実習、検尺実習、作品作り
4年	マネージャー、自己研鑽
・見学会や館外学習(養蚕や製糸に関する施設での学習や実習) ・ボランティア、科学博物館支援(博物館の日・サマーフェスタ等) ・講習会(草木染をした真綿を使った物作り)	

募集期限:3月31日迄

〈サークル作品展の展示風景〉



美しい絹糸や温かい真綿は、蚕が紡ぐ一粒の繭から生まれます。私たち絹サークルは、蚕の繭から真綿や糸を作る伝統的な手仕事を学んでいます。

1年生は、繭を丁寧に煮て広げ、袋真綿と角真綿を作ります。日本真綿協会の「真綿かけ技術保持者」認定が目標です。

2年生は真綿を紡いだり、繭から直接手挽きで糸を取ったりと、それぞれ表情の違う糸作りを学びます。機械製糸の副産物である緒糸も扱います。

3年生は、上州座繰り器という木製の道具を使って、繭からしなやかな生糸を巻き取ります。

4年生になると、マネージャーとして、3年間の学びを後輩に伝えます。

学年を通して草木染めにも取り組み、自分で作った真綿や糸を優しい自然の色に染め上げます。

館外学習では、養蚕農家や製糸場を訪ね、現在では少なくなりつつある絹が作られる現場を見学し、学びを深めます。

日本の素晴らしい絹文化に、私たちと一緒にふれてみませんか？皆さんと活動できることを楽しみにしています。



HP



Instagram



X

〈お問合せ〉

東京農工大学科学博物館 友の会

TEL 042-388-7687

Mail tomojimu2@gmail.com